

1.教育基本法との関係

詳細は、教育出版ウェブサイトをご覧ください。

NO.	第2条	特に意を用いた点や特色	参照ページ等
1	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな体を養うこと。	学校や地域など、自分の成長を支えているさまざまな人々に積極的にかかわって、生活上必要な習慣や技能、適切な行動や言葉遣い等を身につける学習や、身近な自然や、自然の法則を利用して動くおもちゃを自分で作って、見通しを立てたり、見通しと違った場合に振り返ったりする学習など、学習内容に向かって、子どもの思いや願いを実現する手立てが多様に示され、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように工夫されている。	 p.3~9、10~23  p.76~93、96~98
2	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	自分の生活や成長について多様な観点から振り返って自分の価値に気付いたり、地域で生活している人々と積極的に関わって、未来の自分を思い描く学習が設けられ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように工夫されている。	 p.108~116  p.22~37、54~73
3	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	家庭や地域のなかで、自分のあり方について考え、自分の役割を積極的にはたすことの大切さに気付く学習や、学習の中で、自分と異なる立場や意見を尊重して、協働してよりよい活動を創り上げる手立てが示され、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されている。	 p.82~91  p.28~29、36
4	第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	身近な自然を多様な方法で観察して、それらの違いや特徴を見つけて、自然の不思議さやおもしろさを実感することができる学習や、継続して動植物を育てて、それらが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付くことができる学習が設けられ、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫されている。	 p.24~39、40~51、54~63、64~81、94~107  p.4~19、38~49
5	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	外国にルーツがある児童と協働的に学習をしたり、外国にルーツがある児童が自己を発揮して学習したりする様子や多様な人々に関わる学習や、さまざまな地域の暮らしや行事が掲載され、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会と平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されている。	 p.24~39、40~51、54~63、64~81、94~107  p.4~19、38~49  p.20~21、52~53、74~75、94~95

2.学校教育法との関係

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
6	義務教育の目標／各学校の目的・教育の目標	学校教育法に定める目標や小学校における目的や教育の目標を十分に適切に反映させた教科書となっている。	 p.全ページ

3.学習指導要領「総則」との関係

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
7	持続可能な社会の創り手となるような資質・能力の育成	豊かな想像性と生きる力を育むことができるように、生活科の教科目標に則した知識・技能の習得、思考力・判断力、表現力の育成、学びに向かう力・人間性の育成が十分に図ることができる内容や構成である。	 p.2  p.2
8	2年間を通した計画的な学習	No.35参照	
9	幼児教育で育まれた資質・能力との接続	No.37参照	
10	主体的・対話的で深い学び	No.34参照	
11	プログラミング的思考方法	No.62参照	
12	生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみること、多様な他者と協働することの重要性	飼育・栽培や、試行錯誤を繰り返す創造的な活動、多様な人々と交流し協働的に学習する具体的な体験活動が設けられ、その重要性が実感できる内容や構成である。	No.31、34、44参照
13	学習課題や活動の選択	自分自身で活動方法を決めたり、飼育・栽培物や制作物を選択したりできるように工夫され、児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習活動を促す構成である。	 p.11、25、41、55、65、83、95、109  p.5、23、39、55、77、97
14	学校図書館等の利用や読書活動の充実	●学校図書館や地域の図書館の利用例、様々な公共施設の例示があり、積極的な施設の活用を通じて学習活動が充実できるような内容である。 ●上下巻のそれぞれの巻末に、図書紹介が掲載され、積極的な読書活動を促している。	 p.19、125  p.7、27~29、124
15	キャリア教育	No.56参照	
16	コンピュータ等の活用	No.43参照	
17	特別な配慮を必要とする児童への対応	No.38参照	

4.学習指導要領「生活」との関係

NO.	教科目標／検討の観点	内容の特色	参照ページ等
18	生活科における見方・考え方を生かして育成する資質・能力 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が明確に示され達成できる工夫がなされているか。	●身近な人々、社会及び自然などの学習対象と自分との関わり（見方）、学習過程の中で自分自身や自分の生活について考えることやそのための方法（考え方）が小単元名や本文に示され、それらを生かした学習活動が設けられている。 ●特に重点を置いて発揮すると効果的な「力」が、各小単元（各活動）にサイコロで示され、生活科で育成する資質・能力が適切にわかりやすく示されている。	 全ページの文言や活動  p.2  p.2
19	知識・技能の基礎 (1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができるようになっていくか。	●身近な人々、社会及び自然と繰り返し関わる体験活動が十分に設けられ、それぞれのもつ特徴やよさ、それらの関わり等に気付くことができる内容や構成である。 ●感染症などの病気予防、生活のリズムを整える、安全への意識を高める、道具や用具の準備・片付け・整理整頓、遊びのルールを守る、施設や公共の場所のルールやマナーを守る、時間を守る、適切な挨拶や言葉遣いができる、訪問や連絡、依頼の仕方を知るなどの生活上必要な習慣について、コラム等で適切に位置付けられている。 ●必要な道具を使って遊ぶ、ものを作る、手や体、道具を使って掃除ができる、動物や植物の世話ができる、電話や手紙、ICT機器を使って連絡するなど、生活上必要な技能が、適切に位置付けられている。	●学習対象と繰り返し関わる体験活動  全ページ ●生活上必要な技能・習慣 【コラム】「やくそく」  p.13、43、45、67  p.25、59、81 「できるかな」  p.17、53、93  p.59 【特設ページ】  p.22~23、118~129  p.110~129
20	思考・判断・表現の基礎 (2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようになっていくか。	●身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、その特徴や価値を見だし、自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなど分析的に考えたり、試す、見通す、工夫するなど創造的に考えたりする学習活動が多様に設けられている。 ●気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化、ICT機器の活用などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し示されている。	●学習対象と自分との関連  全ページ 特に「もしも」  p.39、63、116  p.37、93、108 ●分析的で創造的な学習活動 NO.42参照 ●多様な表現活動「なにをかんじたかな」  p.14~15、20~21、36~37、48~49、60~61、80~81、86~87、91、104~105、114~115  p.14~15、32~33、46~47、60~61、70~71、82~83、88~89、102~103、106~107

21	学びに向かう力・人間性等 (3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養うことができる工夫がなされているか。	単元導入「わくわくスイッチ」や、単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けて主体的な学びが展開できるような工夫が豊富になされている。	●わくわくスイッチ NO.13参照 ●「ぐんぐんハシゴ」 ③p.21、37、49、61、81、91、105、115 ⑦p.15、33、47、71、89、103 ●「かんがえまとめいろ」 ③p.15、71、87 ⑦p.61、83
NO.	学年の目標／検討の観点	内容の特色	参照ページ等
22	(1)学校、家庭、地域の生活	NO.25、26、27参照	
23	(2)身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすること	NO.28、29、30、31、32参照	
24	(3)自分自身を見つめること	NO.33参照	
NO.	内容／検討の観点	内容の特色	参照ページ等
25	【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】 (1)学校と生活	●学校や通学路を歩き、そこにいる人々や施設にあるものと、直接、繰り返し関わる単元が設けられている。 ●友達や上級生、そこにいる人々、施設の位置や働き、役割、特徴、自分との関わりに気付き、それらを友達と伝え合い、自分の居場所を見付け、安心して学校生活を送る意欲を育む構成である。 ●コラムや特設ページで、感染症などの病気予防や、学校生活や遊びのきまりやマナー、学校生活のリズム、登下校や防災の安全な行動が示されている。	③p.10～23 【学びのポケット】 ③p.120、126～127
26	(2)家庭と生活	●自分や家族の1日を調べ、家族の存在や仕事、役割、家族の思いに気付き、自分にできることについて考え、実行する単元が設けられている。 ●家庭生活は互いに協力し合うことで成立していること、自分も家庭を構成している大切な一人であることなどがわかり、それらを友達と伝え合う活動が充実している。 ●自分の生活を見つめ直し、役割を自覚して進んで取り組み、生活のリズムや健康な生活を継続しようとする意欲を育む構成である。	③p.53、82～91、93
27	(3)地域と生活	●身近な地域や地域で生活したり働いたりしている人々と繰り返し関わる単元が設けられている。主体的に取り組めるように、探検計画例や地図を活用した記録例、グループでの意見交換などが丁寧に示されている。 ●身近にある様々な場所、地域で生活や仕事をしている多様な人々の存在やよさ、自分とのかわりなどに気付き、それらを友達と伝え合い、自分も地域の構成員であることや、地域の人々や行事に積極的に関わる意欲を育む構成である。 ●コラムや特設ページに、挨拶や適切な言葉遣い、相手や場に応じた行動、物の扱い方などが掲載されている。	⑦p.22～37、54～73 【学びのポケット】 ⑦p.114～115、118～119、124
28	【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】 (4)公共物や公共施設の利用	●公共物や公共施設を利用して、よさを実感し、役割や機能を自分の生活とつなげて捉えたり、幼児、高齢者、障害のある人など、多様な人々が利用していること、工夫やきまりがあること、それを支える人々などに気付く構成である。 ●公共施設で働く人々と繰り返し関わり、公共物や公共施設を支えてくれている人々の思いや願いを大切にしながら、大切に正しく利用して、自分たちの生活に生かそうとする意欲を育む構成である。 ●コラムや特設ページで、みんなで気持ちよく利用するためのルールやマナー・安全に気を付けて正しく利用することを掲載している。	③p.10～21、42～43、66～67、96～97 ⑦p.26～27、28～29、58～59 「ちゅうい」 ⑦p.115、124
29	(5)季節の変化と生活	●諸感覚を通して、自然に直接触れ合う単元が設定され、自然の法則や特徴、時間の変化や繰り返し、季節の移り変わりに気付くなどの活動が充実している。 ●四季折々の地域の行事に参加をすることを促す写真などが掲載されている。 ●季節の変化と自分たちの生活との関わりなどに気付き、それらを友達と伝え合う活動が充実しており、気付いたことを毎日の生活に生かし、自分自身の暮らしを楽しく充実したものにしようとする意欲を育む構成である。	③p.40～51、53、64～81、93～107 ⑦p.20～21、52～53、74～75、94～95
30	(6)自然や物を使った遊び	●身近な自然物や自然の事象を利用して遊んだり、不要になった物などで遊ぶものをつくったり、場所自体のもつ特徴を生かして遊んだりする単元や学習活動が充実している。 ●自然物の感触、見通しと事実との違い、目に見えないものの働き、自然のきまり、自然現象そのものの不思議さなどに気付く活動例が豊富に示されている。 ●遊びの約束やルールを変える、遊びを創り出すなど、友達との交流を大切に活動例が示され、生活を楽しく豊かにしていく意欲を育む構成である。	●身近な自然物、自然事象など ③p.45、67、72～77、100～103 ⑦p.76～93 ●自然の不思議さへの気付きなど ③p.43～47、68～69、98～99 ●友達との交流を大切に活動など ③p.74～75 ⑦p.84～87
31	(7)動植物の飼育・栽培	●上巻（主に第1学年）と下巻（主に第2学年）それぞれに、発達段階に応じた生きもので、飼育・栽培の単元が設けられている。 ●動植物が変化し成長していること、生命をもっていること、生命の大切さ、動植物の特徴、育つ場所、世話の仕方、成長の様子、自分自身の世話の仕方や世話してきた心の変容などが、カードに丁寧に例示され、生命あるものとして世話しようとする意欲を育む構成である。 ●外来種生物等の取扱い、動物にも配慮をした手洗いうがいや、アレルギー反応などへの配慮がなされている。	③p.24～39、54～63 ⑦p.4～19、38～51 ●外来種生物 ⑦p.41 ●「手洗いうがいマーク」など NO.53参照
32	(8)生活や出来事の交流	●各単元に、考えたことや学習したことを、友達や先生と伝え合う特設ページ「何をかんじたかな」が設けられ、交流内容、交流方法などが具体的に豊富に示されている。 ●各単元に、学習したことを家の人に伝えるコラムが設けられている。 ●地域の人々、幼児や高齢者など多様な人々と交流する単元が設けられ、相手の立場に立って、伝えたいことが伝わるようにする活動が豊富に例示されている。 ●伝えたいことが相手に伝わり、相手のことや相手が伝えようとしていることを理解できるよさや楽しさ、互いの気持ちがつながるうれしさなどがわかる活動が例示され、自ら協働的な関係を築こうとする意欲を育む構成である。 ●手紙や電話、ファックス、ICTなどの情報機器が豊富に掲載されている。	●多様な方法で交流し合う学習活動 No.20参照 ●家族との交流 No.54参照 ●地域との交流 No.27参照 ●協働的な関係 など ③p.78～79、110～111 ⑦p.66～69 【学びのポケット】 ③p.120～121、128～129 ⑦p.116～117、128～129
33	【自分自身の生活や成長に関する内容】 (9)自分の成長	●家族や身近な人々にインタビューをして、現在の自分を見つめ、過去の自分と比べたり、自分らしさや成長し続ける自分を実感したりして、成長を支えてくれた人々について考える展開になっている。 ●心身の成長、技能の習熟、自分の役目が増え役目を果たすことができるようになったことなどに気付くことができるような例示と学習活動が充実している。 ●自分自身で感じる変化と身近な人々からのメッセージをまとめる活動が掲載されており、成長した自分を実感し、それを支えてくれた人に対する感謝の気持ちを持ち、成長の喜びが更なる成長を願う心を育む構成である。	③p.108～116 ⑦p.96～108

NO.	指導計画の作成／検討の観点	内容の特色	参照ページ等
34	(1)主体的・対話的で深い学び 身近な生活に関わる見方・考え方 校外活動	●学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できる学習活動が繰り返し設けられている。(主体的な学び) ●友達などとの対話によって自分の考えを広げたり深めたりする学習活動が繰り返し設けられている。(対話的な学び) ●学びが深められるように、自分自身で考える場面と、先生が活動を意味づけ価値づけながら導く場面を豊富に例示している。(深い学び) ●身近な人々、社会及び自然などの学習対象と自分がどのように関わっているのか(見方)、学習過程の中で自分自身や自分の生活について考えることやそのための方法(考え方)を生かした学習活動が設けられている。(見方・考え方) ●上巻では、四季を通して身近な自然にかかわる校外活動、下巻では、地域探検を中心とした校外活動が充実している。(校外活動)	●主体的な学び No.13参照 ⑦p.6～7、25、57、81 ●対話的な学び・深い学び No.18参照 ●見方・考え方 ⑤p.118～119 ⑦p.110～111 ●校外活動 No.27、28、29参照
35	(2)児童の発達段階や特性を踏まえた2学年を見通した学習活動	●それぞれの単元において、情緒的側面や認知的側面の発達段階を考慮した学習活動が設けられている。 ●上下巻を通して、二人の主人公の表現活動が例示されており、第1学年の表現内容と、社会科や理科、総合的な学習の時間などに接続する第二学年の表現内容とは、質、内容ともに高まり深まっていく構成である。	⑤・⑦全ページ - 特に、主人公二人のカード例や作文例等
36	(3)2学年で継続した飼育・栽培	上巻(主に第1学年)と下巻(主に第2学年)それぞれに、発達段階に応じた生きもので、飼育・栽培する学習活動が設けられている。	⑤p.24～39、54～63 ⑦p.4～19、38～51
37	(4)他教科等との関連 中学年以降への接続 幼児教育からの接続 (スタートカリキュラム)	●上下巻の「学びのポケット」は各教科などの内容で整理がなされており、適宜、それらの知識や技能を使って学習できる工夫がなされている。(他教科との関連) ●「はってん」で理科、社会科とのつながりが明示され、3年生の学習を見に行く活動が設けられているなど、接続に十分配慮された構成である。(中学年以降への接続) ●絵から想像を広げ言葉を引き出す教材(上表紙裏～p.2)が設けられている。 ●「幼稚園教育要領」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(上p.4～8 下段)がイラストで描かれ、小学校生活の同じ姿が(同ページ 上段)写真で掲載され、幼児期の総合的な学びが、生活科を中心に各教科へ円滑に移行することが表現されている。生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定など、「スタートカリキュラム」の編成方法を具体的にイメージできる構成である。(幼児教育との関連と接続)	●他教科との関連【学びのポケット】 ⑤p.117～129 ⑦p.109～129 「はってん」 ⑤p.7 ⑦p.9、31、43、79、123 ●中学年以降への接続 ⑦p.104～105 ●幼児教育からの接続 ⑤p.4～9
38	(5)特別な支援が必要な児童への配慮 (インクルーシブ教育の視点)	●イラストや写真の中に、障がいのある児童や外国にルーツがある児童が描かれており、お互いを尊重して学び合うことを大切にしていることが、誌面から十分に読み取れる。 ●全体にユニバーサルデザインが施され、十分な対応がなされている。 ・色覚等の特性をふまえ、判読しやすい配色やレイアウト(カラーユニバーサルデザイン)がなされており、検証が厳しく取得が難しいCUDマークを取得している。 ・判読しやすい文字(ユニバーサルフォント)が使用されている。 ・わかりやすい言葉づかいや、学習内容がわかりやすい工夫がなされている。	●⑤・⑦ 全イラスト、写真 - 裏表紙にCUD認定マーク
39	(6)道徳科との関連	道徳科と密接な関わりがある学習活動においては、適宜、コラムや特設ページで取り上げられている。	【学びのポケット】 ⑤p.120～121、124 ⑦p.112、114～115、118～119、122～123
NO.	内容の取扱い／検討の観点	内容の特色	参照ページ等
40	(1)地域、社会、自然の一体的に扱う工夫	地域の人々、社会及び自然がつながりのあるものとして示されており、子どもの思いや願いに添った必然性のある学習活動や展開となっている。	⑤・⑦全ページ
41	(2)友達との交流を大切にしたい表現活動	●各単元に、振り返りの活動「なにをかんじたかな」が設けられ、熱中し没頭したことを表現したり、友達と交流し認め合ったり、振り返って捉え直したりする構成である。 ●言葉、絵、動作、劇化など友達との協働的な表現方法が豊富に例示されている。	No.20 参照
42	(3)見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの学習方法	各単元に、コラム「ヒント」が設けられ、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの学習方法を繰り返し行えるような工夫がなされている。また、これらの学習方法を使う学習活動が豊富に設けられている。	●分析的で創造的な学習活動 ⑤p.27、29、31、33、35、43、47、51、57、67、97 ⑦p.11、13、25、43、85
43	(4)コンピュータなどのICT機器の活用 (情報教育)	●学習上必要な場面に、ICT機器を使用した学習活動が豊富に掲載されている。 ●学習上必要な場面に、二次元コードが付され学習に役立つ情報をウェブサイト「まなびリンク」で見ることができる。 ●「まなびリンク」コンテンツには、動植物の図鑑、ワークシート、学び方を示した動画があり、一人一台端末に対応して、個別最適な学びや協働的な学びができる工夫がなされている。またコンテンツは全て、児童が接続しても安全な自社サイトにリンクされている。	●二次元コード ⑤p.2、3、11、23、25、29、31、33、35、39、41、43、45、47、50、53、55、57、63、65、67、69、83、93、95、97、99、109、123、127 ⑦p.2、5、13、20、21、34、35、37、38、39、41、43、52、53、55、74、75、77、93、94、95、97、108、121、125
44	(5)多様な人々との触れ合い (ダイバーシティ教育の視点)	高齢者、幼児、外国にルーツがある人、障がいのある人などと一緒に活動を行ったり、交流をしたりする活動が設けられていて、同じ学校や地域で、共に生活をしていることに気づき、適切な行動ができるように配慮されている。	⑤p.42、56、66、78～79、96、111 ⑦p.26～27、29、36、58～59、66～67
45	(6)生活上必要な習慣や技能の指導	No.19 参照	
5.生活科の課題への対応			
NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
46	思考力の育成	●主にはNo.20参照 ●付箋を使って整理する活動や思考ツールを使ってまとめる活動などが例示されている。 ●随所に、板書例があり、思考の流れが見える工夫がなされている。 ●資料がクイズになっていたり、創造力や想像力を必要とする「もしも」などが設けられていたり、考えたくなるような工夫が随所に施されている。	●思考ツールの活用 ⑤p.77板書例:ウェビング、p.113板書例 X (エックス) チャート ⑦p.57付箋を使った活動: Y (ワイチャート)、p.99板書例: X (エックス) チャート「もしも」 ⑤p.39、63、116 ⑦p.37、93、108
47	幼児教育とのつながり	No.37 参照	
48	スタートカリキュラム	No.37 参照	
49	中学年以降へのつながり	No.37 参照	
6.さまざまな教育課題への対応			
NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
50	自然災害	避難訓練や、災害時の施設、「おかしも」など、自ら身を守る方法が掲載されている。	⑤p.22～23、126～127 ⑦p.36、126～127

51	防犯	「いかのおすし」や危険を回避する行動などが掲載されている。	📖 p.126
52	交通安全	安全な歩き方や、安全を守っている人々などを掲載していて、注意喚起をしている。	📖 p.22 📖 p.25
53	衛生面や健康（食育）な生活	●感染症などの病気予防ができるように、文部科学省から公示された「学校の新しい生活様式」の、手洗いや換気、咳やくしゃみなどのエチケット、毎日の検温などが記載された特設ページがある。 ●「早寝、早起き、朝ごはん」への意識を促すイラストや教材が設けられている。 ●随所に「手洗い・うがい」マークが施されている。特に、アレルギー反応への配慮が必要な場面には、別途、記載がなされている。 ●危険な動植物は写真で掲載されている。 ●健康や安全を心がけるようコラム「やくそく」が設けられている。 ●食事や食物への関心を促すよう、野菜の栽培活動に、自分たちの食事とかかわりが深いグッズの「ミニ知しき」コラムや、食育を意識した振り返りが設けられている。	📖 p.23、127 📖 p.125（新しい生活様式） 📖 p.53、84～86（早寝、早起き、朝ごはん） 📖 p.38 📖 p.80（アレルギー反応） 📖 p.45～67（危険な動植物） 📖 p.43（熱中症） 📖 p.12、23（食育）
54	家庭との連携や配慮	●目次ページに、生活科で育てたい資質・能力などについて、保護者へのメッセージが掲載されている。 ●生活科の学習について、家庭で話したり生かしたりできるよう、単元末に、家の人と交流するコラムが設けられている。 ●上下巻の裏表紙に、造本上の配慮事項や端末利用上の注意事項、SDGsへの補足コンテンツが設けられている。	📖 p.2 📖 p.2 ●つたえない 📖 p.21、37、49、61、81、91、105、115 📖 p.15、33、47、71、89、103
55	地域、伝統・文化	●地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。 ●地域の特色を生かした活動をしている写真には、地名や活動内容が記載されている。 ●二次元コードからのコンテンツ「まなびリンク」に、地域の慣習や行事に興味や関心を促すことができるコンテンツが豊富に掲載されている。	📖 p.53、93 📖 p.21、34～35、53、75、95 📖 p.102、103 📖 p.26
56	キャリア教育	さまざまな仕事をしている人々と関わる学習活動を通して、仕事の意義に気づき、働く人へのあこがれをもてる構成である。	📖 p.54～73
57	情報教育（ICT）	NO.43 参照	
58	環境教育（環境保護／環境問題／外来種生物）	●動植物を必要以上に採取しないように、環境保全への注意喚起をしている。 ●リユース、リデュース、リサイクルなど環境問題の意識を高める資料が掲載されている。 ●外来種生物について明記がなされている。	📖 p.42 📖 p.40 📖 p.122～123 📖 p.41「アメリカザリガニ ミニ知しき」
59	SDGs教育	生活科の学習のなかで、多様性を原動力に、質的豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことを促す構成であり、関連ページにはSDGsアイコンが設けられ、持続可能な社会への意識を高める工夫がなされている。	📖 p.36、50～51、72、123
60	インクルーシブ教育	NO.38 参照	
61	ダイバーシティ教育	NO.44 参照	
62	プログラミング教育	順序を付けて考える、見通しを持って考えるなど、プログラミング的な思考方法を育てる学習活動が認定されている。	📖 p.56～57、84～85、113

7.組織・配列・構成

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
63	単元構成	学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った自然体験から、自然のもつ力について考える思考の高まりなど、上巻から下巻へと、発達段階に応じて、児童の行動範囲や気付きが広がっていくように配慮されている。	📖 p.10～23から、 📖 p.22～37、54～73 📖 p.44～47、67～69、72～76、97～99から、 📖 p.76～93へと科学的な視点を高めている
64	単元配列	児童の意識の流れや学習意欲に添った単元の配列になっている。	📖 p.2 📖 p.2
65	活動展開	活動と振り返りを繰り返し行い、児童が自ら活動内容を把握し、見通しをもって学習に取り組むことができる構成である。	NO.20 参照
66	自発的な学習をうながす工夫	学習のねらいや見通しが明確にわかる工夫がなされている。	NO.18、34 参照
67	学習の定着	振り返りや友達と伝え合う活動が豊富に設定され、学習の定着に重点を置いている。	主に、 NO.18～21 参照

8.分量

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
68	授業時数との関係	学習指導要領に示されている内容を欠落させることなく、また詰め込みすぎず、適切なゆとりをもって活動ができる適切な時数である。	📖 ・ 📖 全ページ

9.表記・表現

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
69	文章・表現	具体的で簡潔な言葉で表現や文字量で、発達段階に応じた配慮がなされている。	📖 ・ 📖 全ページ
70	表記	上巻では、2学期（後期）より第1学年配当漢字（ルビ付）と片仮名、下巻では第2学年配当漢字（ルビ付）で表記されていて、国語科との関連や児童の発達段階に即した適切な表記である。	📖 p.54～：カタカナ表記・第一学年配当漢字（ルビ付き） 📖 p.2～：第2学年配当漢字（ルビ付）
71	色覚等の特性を踏まえたユニバーサルデザイン	全ての児童にとって判読しやすいユニバーサルデザインがほどこされている。検証が厳しいCUDマークを取得し、色覚等の特性に十分に配慮されている。	📖 ・ 📖 裏表紙にCUD検証マーク
72	文字・記号	全ての児童にとって判読しやすいユニバーサルフォントが使用され、文字や記号が写真やイラストに重ならないように配慮されている。	📖 ・ 📖 主な文字・記号全て
73	イラスト・写真	学習活動を例示したイラストや写真は、児童の関心や意欲を促す躍動感のある表現で、図解や動植物などのイラストは、正確で資料性が高いタッチで表現されている。	●主活動のイラスト 📖 p.12 📖 p.30等 ●資料図 📖 p.50～51、76 📖 p.16～17、20～21、48～49、52～53、74～75、90、92、94～95等

10.用紙・印刷・造本

NO.	検討の観点	内容の特色	参照ページ等
74	用紙	白色度が高く、裏映りをしない軽い紙が使用されており、児童の負担にならない重さの教科書である。	📖 ・ 📖 全ページ
75	印刷	文字、写真、イラストが鮮明で正確な色調で印刷されている。印刷には環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮されている。	📖 ・ 📖 裏表紙
76	造本	表紙には抗菌加工と、汚れ等に強いコーティングを施し、堅牢な造本となっている。	📖 ・ 📖 裏表紙
77	判型	読み取りやすいように、低学年児童に適した大きい紙面（A4判）が採用されている。	📖 ・ 📖 全ページ